～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
（Ref No：21－005）

１　パラオの国家緊急事態委員会は、4 月 15 日から 17 日にかけて通過した台風 Surigae による社会インフラや住宅等への被害額が推定 480 万ドルに達すると、ウィップス大統領に報告した。住宅については、全損 106 戸を含む 931 戸の家屋が被害を受けており、同大統領は、これは「パラオの住宅の 20 パーセント以上」と述べている。オーストラリア政府から初期被害調査と避難所の維持ために 5 万ドルの支援が、米国政府からはパラオ赤十字社に 10 万ドルの支援があり、台湾からは 100 万ドルの寄付があった。
原文（パラオ政府、台風被害に外国支援を求む）
（23rd April 2021, Island Times）
原文（台風被害額 480 万ドル）
原文（台湾が 100 万ドルを寄付）
（27th April 2021, Island Times）
原文（住宅被害への経済支援）
（30th April 2021, Island times）
※参考：在パラオ日本国大使館（リンク参照）

２　米国のバイデン大統領が呼びかけた気候サミット（4 月 22-23 日）に太平洋島嶼国から唯一マーシャル諸島（RMI）が招待された。RMI はバイデン大統領の招待を歓迎し、太平洋の声をサミットに届けると約束した。一方、RMI のみが太平洋地域から招待されたことは、RMI が太平洋諸島フォーラム（PIF）を脱退することもあり、同地域を驚かせ、特に COP23 を主催したこともあるフィジーは米国大使館に説明を求めた。在フィジーの米国臨時大使は、バイデン大統領は主要な排出国を招待したものだが、小島嶼開発途上国の意見は、議長国であるアンティグア・バーブーダが代表していると述べる一方、マーシャル諸島は「高い野心連合の議長（chair of High Ambition Coalition）」として招待されたものだと述べた。
原文
（22nd April 2021, Radio NZ）

３　ユナイテッド航空は 6 月にマーシャル諸島のマジュロとクワジェリンを結ぶアイランドホッパーを 4 便運航することを計画している。COVID-19 発生以降、米国の航空会社による同航路のアイランドホッパーは毎月 1～2 便だった。
原文
（23rd April 2021, Marshall Islands Journal）

４　ソロモン諸島政府が、議会の任期（4 年）延長を検討している。現議会の任期は 2023 年 4 月で同国が主催する Pacific Games の開催の 2 か月前となっている。ソガバレ首相は野党の質問に対し、2023 年に総選挙を行うことは国会議員や国民に対して不公正であると述べたが、それ以上の言及は避けた。任期延長には憲法改正が必要との認識を政府は示している。
原文
（20th April 2021, Radio NZ）

５　オーストラリア連邦政府のペイン外相は、同国のビクトリア州政府が 2018 年と 2019 年に中国と交わした一帯一路構想に参加する決定を含む計４つの外国政府との合意を無効にすると発表した。オーストラリアは昨年、中国を念頭にしたものと見られる新法を制定し、同法では州政府が外国と交わした取決めで国益を脅かすと考えられるものを破棄することを認めている。
原文
（21st April 2021, Channel News Asia）

６　シンガポール海事港湾庁（MPA）は、海事分野の脱炭素化を推進するため、国際海事脱炭素化センターの設立に関する覚書を、日本の Ocean Network Express を含む業界 6 社と締結した。MPA は 4,500 万 US ドルを、各社は 750 万 US ドルを提供し、計 9 千万 US ドルの基金を設立する。また、MPA は Temasek（※シンガポール政府保有の投資会社）と港湾運営の脱炭素化、低炭素又は代替エネルギー減の開発・導入及び世界の他の地域における海事サプライチェーンの脱炭素化に関する覚書を締結した。
原文
（21st April 2021, Splash）

７　シンガポールの運輸大臣は、シンガポール海事週間の開会式で、COVID-19 やスエズ運河閉塞事案によりサプライチェーンの混乱に対する回復力の重要性が再確認され、外国への依存を減らす議論が活発になったが、既に確立されたグローバル化と複雑なサプライチェーンを戻すことはできないとして、マラッカ・シンガポール海峡のような国際貿易の大動脈の安全性と開放性を確保することは重要な課題であると述べた。また、このため、シンガポール海事港湾庁（MPA）はマラッカ・シンガポール海峡の船舶交通情報システム（VTIS）の強化など航行安全の確保に引き続き努めるとともに、COVID-19 が船員交代に与える影響に対し、船員のワクチン接種に対する国際的な取組みを支援するため最善を尽くすと述べた。
原文
（19th April 2021, Seatrade Maritime）

８　シンガポール海峡で 4 月 17 日に 2 件の武装強盗事案が報告され、アジア海賊対策地域協力協定情報共有センター(ReCAAP　ISC)は、インシデント・アラートを発出した。うち 1 件は、機関室で乗組員が賊にレンチで殴られて負傷し、

機関予備品が盗まれた。ReCAAP ISC は、シンガポール海峡の特にインドネシア・ビンタン島の Tanjung Pergam 沖で事案が続いていることに懸念を表明しており、また、各事案の容疑者は逮捕されておらず更に事案が発生する可能性があるとして、船舶に対して警戒を強化するよう勧告している。
原文
（23rd April 2021, ReCAAP ISC）

United plans four flights for June

United Airlines has scheduled more flights in June than it has flown in any month in over a year.

After Covid-19 shut down air travel in March 2020 and United halted regular service, the US airline has serviced Majuro and Kwajalein with the Island Hopper service once or twice each month.

But this week, United announced four Island Hopper flights for June. The roundtrip flights will happen on June 3-4, 7-8, 17-18, and 21-22.